

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	鶴見緑地スマイルパートナーズ 【構成員】 大和リース株式会社 一般財団法人大阪スポーツみどり財団 美津濃株式会社 株式会社ウエルネスサプライ 有限会社エルミオーレ 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 大和ライフネクスト株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和22年3月31日（20年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		80.6%
達成率		100.8%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	100.0%	100.0%	0.0%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.0%	96.6%	1.4%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	74.4%	79.5%	-5.0%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	40,260,000	29,910,600	0	計画通り
	計画	40,260,000	27,815,000		
利用料金（使用料）収入	実績	6,686,270	5,652,800	186,270	高稼働率で推移
	計画	6,500,000	5,110,000		
自主事業収入	実績	27,240,594	23,681,245	40,594	教室up、その他自主事業down 合計ではほぼ計画通り
	計画	27,200,000	29,890,000		
その他収入	実績	78,250	43,190	38,250	用具レンタルが計画を上回った
	計画	40,000	25,000		
合計	実績	74,265,114	59,287,835	265,114	
	計画	74,000,000	62,840,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	24,213,769	22,122,808	-1,286,231	職員異動に係るタイムラグ
	計画	25,500,000	19,080,000		
物件費	実績	19,592,967	21,672,262	-4,107,033	水光熱費、特に電気代が 計画を下回った
	計画	23,700,000	17,960,000		
修繕費	実績	1,814,500	2,980,500	14,500	ほぼ計画通り
	計画	1,800,000	1,000,000		
自主事業支出	実績	13,871,690	15,769,271	1,971,690	教室収入上振れに係る 講師支出増
	計画	11,900,000	19,120,000		
その他支出	実績	11,192,302	11,199,439	92,302	未払消費税上振れ
	計画	11,100,000	5,680,000		
合計	実績	70,685,228	73,744,280	-3,314,772	
	計画	74,000,000	62,840,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	100.8%	B	

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
(光熱水費の削減) ・ 夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯 ・ 事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯 ・ 事務所内の空調利用制限 (事務消耗品の縮減) ・ 紙資料から電子資料への移行を推進した。 ・ 裏紙の再利用を継続、リサイクルを推進 (自主事業経費の削減) ・ 教室事業チラシは、内製化継続 ・ 自社作成による施設ホームページを活用し募集 (修繕費の削減) ・ 相見積の徹底 ・ 一括発注による諸費削減推進 ・ 簡易な修繕は、部品調達し内製化	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

「とても満足」「満足」で80.6%、対前年▲0.7p、不満が+5.3p シューズレンタルや照明改善は好評価を得ているが、今年度は教室への意見が増加、講師含め対策を検討中。
--

6 外部専門家意見

非常に高い稼働率を維持しながら、利用者満足度についても目標値を上回っており評価できる。 収入は各項目で概ね計画どおり（計画を上回る水準）となっており、安定した収入確保が図られている。支出についても、光熱費高騰の影響がある中で前年度よりも削減し、計画を下回る実績となっている。前年度はトータル収支がマイナスであったところ、今年度は黒字化することに成功しており、収支改善に取り組んだ点を評価する。今後は、多目的室等の低稼働時間帯を活用した新規プログラムの開発とともに、教室事業について「参加者数・継続率・満足度・収支」を一体的に把握し、施設利用促進と事業収益性の双方を高めるPDCAを構築することを期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見緑地プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	鶴見緑地スマイルパートナーズ 【構成員】 大和リース株式会社 一般財団法人大阪スポーツみどり財団 美津濃株式会社 株式会社ウエルネスサプライ 有限会社エルミオーレ 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 大和ライフネクスト株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和22年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		77.7%
達成率		97.1%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	148,182	145,751	2,431
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	176,884,580	168,461,300	52	計画通り
	計画	176,884,528	168,461,300		
利用料金（使用料）収入	実績	99,747,000	99,380,000	-5,253,000	利用者数伸び悩み 160,000人を下回った。
	計画	105,000,000	94,580,000		
自主事業収入	実績	69,175,286	63,834,403	10,675,286	飲食・物販が好調
	計画	58,500,000	49,022,000		
その他収入	実績	403,500	346,500	3,500	ほぼ計画通り
	計画	400,000	0		
合計	実績	346,210,366	332,022,203	5,425,838	
	計画	340,784,528	312,063,300		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	69,460,461	63,215,714	-2,139,539	職員異動に係るタイムラグ
	計画	71,600,000	74,030,000		
物件費	実績	167,210,849	153,804,299	910,849	水光熱費減、 修繕や夜間電飾に係る手数料増
	計画	166,300,000	152,783,500		
修繕費	実績	9,835,650	8,481,088	1,335,650	老朽化に係る修繕増加
	計画	8,500,000	9,400,000		
自主事業支出	実績	53,565,993	50,910,680	5,565,993	飲食物販好調に係る原価増
	計画	48,000,000	35,198,000		
その他支出	実績	46,912,994	43,950,312	529,034	収入上振れに係る一般管理費増
	計画	46,383,960	40,651,800		
合計	実績	346,985,947	320,362,093	6,201,987	
	計画	340,783,960	312,063,300		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	97.1%	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
(光熱水費の削減) ・夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯 ・事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯 ・事務所内の空調利用制限 ・シャワー等水道関連で節水システムを採用し水道代を削減 ・利用者在館状況を共有し、不要な動力、照明などの停止 (事務消耗品の縮減) ・紙資料から電子資料への移行を推進した。 ・裏紙の再利用を継続、リサイクルを推進 (自主事業経費の削減) ・教室事業チラシは、内製化継続 ・自社作成による施設ホームページを活用し募集 (修繕費の削減) ・相見積の徹底 ・一括発注による諸費削減推進 ・簡易な修繕は、部品調達し内製化	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

「とても満足」「満足」で77.7%、対前年+6.9p、不満が▲3.6pと改善した。
冬季加温不良が収まり、寒いとの意見は減少したが、夏季の混雑及び清掃については意見有り。
次年度繁忙期の清掃強化を検討する。

6 外部専門家意見

利用者満足度は目標をやや下回ったものの、昨年度から6ポイント向上しており、サービス改善の取組が一定の成果につながっている点は見取れる。次年度は目標達成に向け、利用者ニーズの的確な把握に努めるとともに、未達要因を分析し、具体的な改善策へ確実につなげられたい。

収支については概ね計画どおりであるが、わずかに計画を下回っている。収入面では、利用者数が目標16万人に対し14.8万人と未達となり利用料金収入は計画に届かなかったものの、フードコートを中心とした自主事業が好調で収入計は計画を上回った点は評価できる。一方、支出面では、水光熱費は計画と大きな乖離はないものの、修繕費・手数料の増加や自主事業収入増に伴うフードコート委託費の増加等により計画を上回っている。年間利用者数16万人を達成することが本当に経営上の最重要課題なのかについて検討をしても良いと考える。毎年、夏は常に混雑が課題であり、利用者数増と満足度の向上の両立は簡単ではない。年間利用者数、閑散期利用者数、繁忙期満足度、利用者一人当たり収益といった目標設定を行うことが、施設全体の価値向上につながるのではないかと考える。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	鶴見緑地球技場、鶴見緑地運動場、鶴見緑地庭球場
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	施設の経営マネジメント業務全般、集客促進業務、駐輪場の管理等施設の管理運営に関すること。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	鶴見緑地スマイルパートナーズ 【構成員】 大和リース株式会社 一般財団法人大阪スポーツみどり財団 美津濃株式会社 株式会社ウエルネスサプライ 有限会社エルミオーレ 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 大和ライフネクスト株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和22年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（球技場・運動場）

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		79.8%
達成率		99.8%

2 管理運営の成果・実績（庭球場）

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		63.4%
達成率		79.3%

利用状況（球技場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	80.5%	73.1%	7.4%

利用状況（運動場1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	75.8%	70.9%	4.9%

利用状況（運動場2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	35.2%	35.3%	-0.1%

利用状況（庭球場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	53.0%	51.4%	1.6%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	58,824,100	43,046,000	163,300	熱中症補填:163,300円
	計画	58,660,800	43,046,000		
利用料金（使用料）収入	実績	92,370,220	89,073,660	5,734,220	第2球技場利用好調
	計画	86,636,000	84,636,000		
自主事業収入	実績	42,927,988	41,719,782	-7,333,612	庭球場スクール不振
	計画	50,261,600	56,694,000		
その他収入	実績	4,713,483	4,403,911	539,483	自販機売上好調
	計画	4,174,000	3,457,500		
合計	実績	198,835,791	178,243,353	-896,609	
	計画	199,732,400	187,833,500		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	53,008,798	54,821,991	-1,290,302	アルバイトスタッフ減
	計画	54,299,100	65,205,000		
物件費	実績	64,809,212	56,725,939	-13,884,988	人工芝更新遅れ
	計画	78,694,200	60,063,000		
修繕費	実績	4,004,882	6,323,630	-3,995,118	想定以下で推移
	計画	8,000,000	10,200,000		
自主事業支出	実績	35,436,287	31,970,220	914,687	講師料支払増
	計画	34,521,600	32,831,500		
その他支出	実績	25,273,628	26,488,086	1,056,128	計画にない支出（事業所税）
	計画	24,217,500	19,534,000		
合計	実績	182,532,807	176,329,866	-17,199,593	
	計画	199,732,400	187,833,500		

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（球技場・運動場）	99.8%	B	
利用者満足度（庭球場）	79.3%	C	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
（光熱水費の削減） ・夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯 ・事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯 ・事務所内の空調利用制限 （事務消耗品の縮減） ・紙資料から電子資料への移行を推進した。 ・裏紙の再利用を継続、リサイクルを推進 （自主事業経費の削減） ・教室事業チラシは、内製化継続 ・自社作成による施設ホームページを活用し募集 （修繕費の削減） ・相見積の徹底 ・一括発注による諸費削減推進 ・簡易な修繕は、部品調達し内製化	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

【球技場・運動場】 「とても満足」「満足」で79.8%、対前年+4.3p、不満が▲8p。 接客面や第二球技場人工芝では高評価も、メイングラウンドの芝状態他設備面の改善を望む声が多い。 【庭球場】 「とても満足」「満足」で68.4%、対前年▲5.3p、不満が▲15.5p。 施設の雰囲気（清潔感）、コーチが熱心等好意見がある中、トイレ・コート状態不良他設備面の改善を望む声が多い。
--

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

【球技場・第2球技場】
人工芝化以降、利用が着実に伸びており、目標を上回っている。ハード整備が利用増加に直接結び付いた好事例として評価できる。
今後はサッカー以外のイベント利用など、新たな用途開発を進め、施設の価値をさらに高めることが期待される。

【第 2 運動場】
稼働率は依然として低い水準にとどまっていることから、次年度以降は、曜日・時間帯・競技種目・利用主体別に空き枠を分析し、どこに利用余地が存在するのかを明らかにしたうえで利用促進策を検討することを求めたい。

【庭球場】
庭球場については、利用率、利用人数ともに目標をやや下回るとともに、利用者満足度も目標未達であり、コート状態や設備面への改善要望が確認されている。加えて教室事業の不振が複数年度にわたり継続していることから、単なる広報強化やスクール枠拡大だけでは改善は難しいのではないだろうか。参加者の年齢構成、新規入会・退会、継続率、時間帯別需要、周辺民間スクールとの競合状況等を分析し、プログラム、価格、時間帯、指導者体制を含めた事業そのものの再設計を検討する必要がある。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	C	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	